



個性が輝く まちが輝く

とうぎやざー

みんな仲良く一緒に

2020.3.第22号



よかひとりレー

坂井明子さん(八女市)にインタビューしました! 2

- ☆黒木町男女共同参画地域づくり講演会「子どもの心が壊れかけている」… 4
☆上陽町男女共同参画セミナー「～落語で語る男女共同参画の嘶～」……… 5
☆パパと子どものクッキング・編集後記…………… 6



情報誌「とうぎやざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

発行：八女市 男女共同参画推進課 ☎0943-23-1314
こらぼれーと*(八女市男女共同参画情報誌編集委員会)

※ くらばれーと（共同）
情報誌を編集するメンバーのグループ名です。よろしくお願いします。

—ハ女市議会の事務局長といふのはどんなんお仕事ですか？ どんなことをされているのですか？

よかひと リレー

八女市議会事務局長
坂井 明子さん



てします。部長になるということでお意識したことは？

「事務方のトップになるんだから、しっかりとやるよう！」と言わ責任を感じましたが、女性だからとあまり意識せずに、自分らしさを持ち続けていこうと思いました。女性が一人だけでやりにくいくらいと思つたことは特にあります。男性の皆さんのが、よく意見も聞いてくださいます。

— 市議員の皆さんは、選挙で選ばれ、市民の信託を受けて活動されていいるということを念頭において、対応しなければならないと思つています。

— 昨年四月の選挙で、八女の市議員数は四人減り二十二人になりましたが、女性議員は一人だけ。

女性の議員は一人でも多くいていただきたいたいと思います。子育てや介護など、まだまだ女性の役割は大きいと思います。経験したからこそ思いつくことがあるのではないかでしょ？ そのような視点が政策などに活かされるといなと思います。

— 議会事務局長という立場は八女の市の組織の中で、部長級です。市の部長は七人ですが、女性は坂井さんだけ。坂井さんは、以前に二年間、健康福祉部長も経験され

— 私たちは男女が性差に関係なく、職場でも家庭でも平等に過ごせる社会の実現を目指して活動しています。八女市は平成十九年、「男女共同参画社会都市宣言」をしています。周辺の自治体では早い取り組みでした。坂井さんはそこには、女性の地位向上に関する職場におられたそつですね。

市の宣言の前に、八女市では女性問題懇話会が発足していました。当時、男女雇用機会均等法が制定され、子育てをしながら家庭と仕事の両立ができるということを目指した法律でした。女性問題に 관심があり、異動希望調書に企画課への希望を書き、その後、配属された企画係で、女性問題懇話会の事務局をしました。市長に出す提言書をまとめた懇話会の委員は、色々な分野から十数人出ていました。終盤には休日も出でただいてまとめてもらいました。男性の委員の中には、男子厨

— 担当は坂井さん一人だったとか。市で初めて女性問題を課題にする職場だったわけですが、大変だったでしょ？ 男性職員の反応などはいかがでしたか？

若い職員はすんなり受け入れる感じでしたね。当時はどちらかというと、管理職の方が受け入れ辛かったのかもしれませんね。提言がまとまるまでには一年近くかかりましたが、その間に自分自身も家族も、意識が変わったと思います。家庭でも役割分担などを口にするようになりました。

— そうした取り組みの結果、市役所がこう変わったとか、変化を感じますか？



房に入らずといつた世代の方もおられましたが、会議のあと「今日、家に帰つたら、うちにこんなふうに言ってみよう」とか「手伝つてやろう」とか言われるようになります。

体制が変わりました。係から課へ。男女共同参画を担当する部署として女性政策係が出来て、そのあとに男女共同参画・子育て支援課になり、今は男女共同参画推進課という担当の組織が出来ました。嬉しかったです。

意識は随分、変わったと思います。自然に、ですね。職員の研修もありますし。私が役所に入ったころは、お茶くみ、電話当番、窓口とかが女性の役割で、会議に出ることもありませんでした。今は女性職員も担当の業務を持ち、会議にも出ます。窓口も男性、女性に関係なく対応しています。市民の二ーズも変わったと思います。当時、役所に見える女性は少なく、男性でも町内会長などの役職の方とかが多くつたですね。現在は市民の二ーズが広がりましたから様々な方が来られます。

A photograph of a man in a suit and tie speaking into a microphone at a podium in a courtroom. Behind him, two other people are seated at a wooden bench. The man appears to be giving a speech or testimony.

八女市のこれまでの取り組み

- | | |
|---------|---|
| 平成 8 年 | 企画調整室に女性行政の総合的な窓口を設置 |
| 平成 10 年 | 八女市における女性問題についての提言を受けることを目的とした市長の諮問機関「八女市女性問題懇話会」が設置 |
| 平成 12 年 | 女性政策係は企画財政課に所管替
行動計画策定に向けて、八女市女性問題懇話会から市長に提言書を提出 |
| 平成 13 年 | 「八女市男女共同参画推進審議会」を設置 |
| 平成 14 年 | 「八女市男女共同参画行動計画～男女が共に参画するまちづくり～」第 1 次行動計画（平成 14 年度から平成 17 年度）を策定 |
| 平成 16 年 | 審議会からの「八女市男女共同参画を推進するための条例制定について」の答申を受けて、「八女市男女共同参画のまちづくり条例」制定 |
| 平成 17 年 | 機構改革により女性政策係は、福祉事務所こども・女性政策係に所管替 |
| 平成 18 年 | 「第 2 次八女市男女共同参画行動計画、個性が輝く、まちが輝く。～男女が共に参画するまちづくり～」（平成 18 年度から平成 22 年度）を策定
機構改革により、こども・女性政策係は、男女共同参画・子育て支援課男女共同参画推進係に所管替 |
| 平成 19 年 | 「八女市男女共同参画宣言都市」記念式典 |
| 平成 22 年 | 八女市役所初の女性部長誕生
機構改革により、こども・女性政策係は、男女共同参画・生涯学習課男女共同参画推進課係に所管替 |
| 平成 23 年 | 「第 3 次八女市男女共同参画行動計画」（平成 23 年度から平成 27 年度）を策定 |
| 平成 28 年 | 「第 4 次八女市男女共同参画行動計画」（平成 28 年度から平成 32 年度）を策定 |
| 平成 30 年 | 機構改革により男女共同参画推進課男女共同参画推進係の設置 |



今は入庁一年目の職員を対象に行われています。管理職や係長はDV（ドメスティック・バイオレンス）配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあつた男女間の暴力）の研修もあります。地方公務員は、三歳に満たない子を養育する男女職員は、育児休業が取れますが、無給です。担当部署に聞いたところ、これまでに男性で取ったのは一人だけで、期間は一週間だつたそうですが、男女共同参画社会の成果の一歩だと思います。

—後輩の女性に対してのアドバイスというかエールを送るとすれば?

めることを目標とし、後輩の女性職員の応援になると自分自身に言い聞かせながら、これまでやつてきたつもりです。男性女性に関係なく職員として、様々な経験や研修などを経て大きく成長するため積極的に参加し、向上心を養つていただきたいと思っています。新規採用職員の方に話す機会がありましたが、その時も、「同期の職員とのつながりを大切にしてほしい」「女性には結婚・出産、いろいろありますから、研修を受け、能力開発の取り組みなどにも積極的に参加してほしい」などの話をさせていただきました。これから後輩の活躍を期待し、見守っています。

10月18日(金) 於・八女市役所黒木支所 大会議室

『子どもの心が壊れかけている』

「面前のDV・虐待とDV問題」

講師 社会福祉士 石本宗子さん

石本さんは、久留米市を拠点とする民間団体に所属し、DVを

じめとする暴力被害を受けている女性への安全確保と自立に向けた支援活動を展開されています。

DVについて再度共通理解を深

めるための話に引き続き子どもに対する影響、支援についてご講演いただきました。

DVは被害者が引き起こしている問題ではなく、加害者の「相手を自分の思い通りに支配・管理しても許される」という価値観や考え方によって起きている問題です。

具体的な行為として

- ・身体への危害（殴る、蹴る、刃物で傷つける等）

- ・精神的な暴力（怒鳴る、脅す、物を壊す、馬鹿にする、蔑む等）

- ・性的な暴力（望まない性交渉、避妊をしない、裸の写真を撮る等）

- ・社会活動を制限する暴力（外出させない、監視する等）

- ・経済的な暴力（生活費を渡さない、買い物をチェックする等）

- ・子どもを利用した暴力（子どもを虐待する、子どもに女性を非難させる、子どもの前で貶める等）

があります。

そうしたDVが起きている家庭の子どもへの影響は深刻です。一方的な支配関係を学び、物事を暴力で解決する、感情や意思を押さ



また、子どもから相談を受けた時は子どもの話を信じて、必要な支援、可能な支援について丁寧に説明をし、緊急避難が必要と判断される時、危機介入が必要な場合も子どもの気持ちを置き去りにせず意思を尊重することも大切です。

DVは、子どもたちの安全を脅かします。野田市や日黒の児童虐待死のケースのように児童虐待がある家庭の多くにDVがあります。被害者支援の際には「あなたが悪いのではありません」「DVは暴力、人権侵害ですよ」と伝え込み、発達、成長が阻まれてしまいますが、

その結果、聞き分けの良い子としてふるまつたり、家庭内暴力として表れたり、他の子どもに乱暴な態度をとったり、不登校や引きこもりになつたり、万引き、売春等の問題行動に走らざるを得なくなつたりします。

DV被害を受けている子どもへの支援としては次のようなものがあります。

- ・様子、発するサインに気付く。
- ・意識的に声掛けをする。
- ・子どもと同じ目の高さで、その子のペースで話を聞く。何度も聞く姿勢が必要。
- ・居場所を作る。安心して時間を過ごせる居場所、自然に触れる機会を作る。



11月17日(日) 於..上陽町公民館

「落語で語る 男女共同参画の嘶」



アマチュア落語家の粗忽家勘心さんをお迎えし、「落語で語る男女共同参画」についてご講演を頂きました。

お馴染みの太鼓のお囃子で登場後、さすが話芸の達人、会場内を見渡して最初の「つかみ」のご挨拶で、会場内は大きな笑いと拍手に包まれ、まるで寄席に来たような感覚になります。

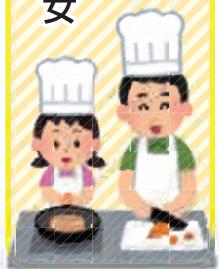
嘶の中で「参画」と「参加」の違いについて、たとえ話を交えながら面白おかしく説明されました。また八女市の男女共同参画事業への取り組みが福岡県より五年も早いことや夫婦・男女・教育・子育て・雇用など多岐の分野において関係していることなどを、パネルを使って解説され、わかりやすい充実した内容でした。

最後に、落語界の名物キャラクターの与太郎の小嘶をされました。嘶の中で間の抜けた言動ながら憎めない性格の与太郎を周囲の人が理解し、温かく見守る言葉のやり取りがおかしくもあり、また心地よく感じました。今回参加された方も、落語を通して他者への思いやりを再確認されたことと思います。



パパと子どものクッキング

12月8日(金) 於・おりなすハ女



ワーク・ライフバランスの推進が必要です。



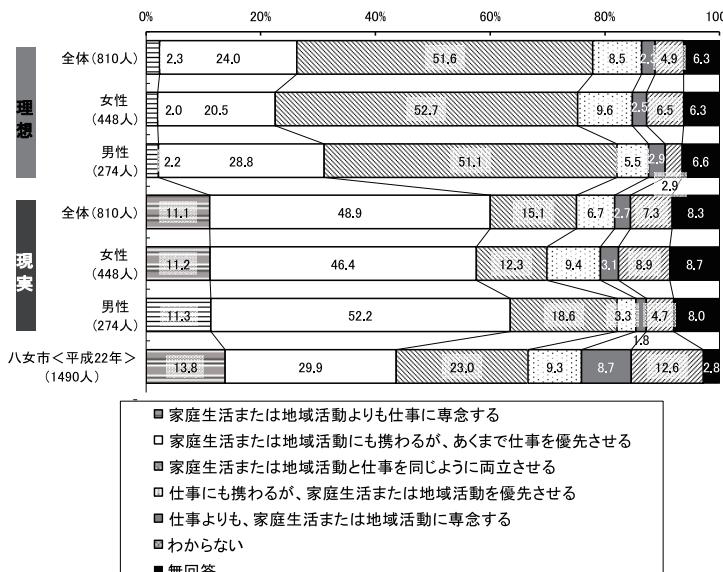
今年度、福岡県男女共同参画センター「あすばる」では、特定非営利活動法人全国女性会館協議会と日本テトラパック株式会社との共催による働く女性を応援する男性・子どもの生活自立支援事業が開催されることになりました。この事業を「あすばる」と一緒に開催する市町村の募集があり、数多くの応募の中からハ女市が選出されました。

小学校一年生から四年生を対象に学校を通して配付したチラシを見て、講師がテレビでおなじみのけんちゃん先生だったこともあり、募集人數十組に対し三十一組と多数の応募がありました。

アンケートには
・子どもと一緒に時間を過ごすことができてよかったです。
・他のお父さんとの情報交換ができてよかったです。
といった感想がありました。

手際よい調理で、ほぼ時間通りに完成した料理をおいしくいただいました。

市民部長、「あすばる」センター長のあいさつの後、生活自立支援チェック表を記入してもらい、いよいよ調理のスタートです。メニューは、パスタアラビアータ・フライパンで煮豚・茶碗蒸し・混ぜるだけコーンスープ・食パンを使わない不思議フレンチトーストの五品です。



令和元年が始まり、新鮮な気持ちをゆっくり噛みしめる間もなく、令和2年です。時間の経過がとても早く感じられます。

私の中では、その例のひとつが子育てです。すっかり大人になった自分の子どもたち。段々、親が必要な存在では無くなり関係性も変化していきます。小さかつた頃の姿を思い浮かべては複雑な気持ちになりますが、気持ちを切り替えていかなくてはなりません。

あれよあれよという間に、周囲の大人たちから影響を受けながら成長し、価値観を身に付けていく子どもたちを見て、改めて思います。一番小さな社会である家庭の中で、一人ひとりの人格・個性を大切に見つけ合い、お互いに謙虚な気持ち・思やりを忘れないよう過ごすことが当たり前になれば、その輪が広がって皆が幸せになるのにな、と。しかし、そう上手くいかないのが人間社会。これが幸運になるのにな、と。しかし、この広報誌を編集するにあたり、いつもそういうことを考えながら内容を吟味します。

2020年。二コ二コ。人と人の繋がりが大切にされ笑顔あふれる社会になりますように。